

みて～ん鹿児島農業

わたしたちを動かすもの、
それは農業への愛だ。



かごしま農業女子プロジェクトが 「第14回 南の宝箱 鹿児島 ふるさと物産展」に出展しました！！

令和5年8月17日～22日に鹿児島山形屋で「第14回 南の宝箱 鹿児島 ふるさと物産展」が開催され、かごしま農業女子プロジェクトが出展しました。

3回目となる今年の出展では、県内各地でメンバーが生産、加工した自慢の農産物や加工品がカラフルに並べられ、期間中、多くのお客様で賑わいました。

また、今回はSNSを介したネット販売の取組もあり、会場へ直接出向けない消費者へのアプローチも試みられました。

— 猛暑の中、メンバーが交代で担当しました！ —



— 各地で生産、加工された農産物や加工品でいっぱい！ —



農業経営の「収入保険」ってなあに？

収入保険とは、平成31年1月から新たに始まった農業保険制度で、青色申告を行っている農業者が加入できます。

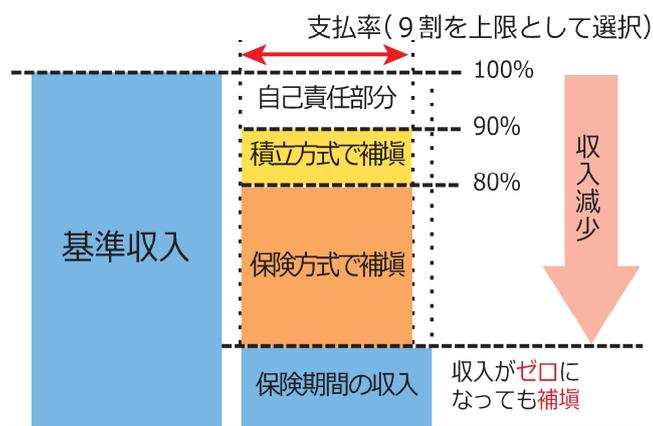
収入保険では、品目の枠にとらわれず、全て（一部の畜産品目を除く）の農業経営品目を対象に、農業経営全体として加入いただくことで、自然災害や価格低下だけでなく、ケガや病気で収穫ができない状況なども含めた収入減少を幅広く補填します。

基本のタイプ

- 例えば、**基準収入1,000万円**の方の場合、保険料8.5万円、積立金22.5万円、付加保険料（事務費）2.2万円で、**最大810万円の補填**が受けられます。
- このタイプは、保険期間の**収入がゼロ**になったときは、**810万円**（積立金90万円、保険金720万円）の補填が受けられます。

基本のタイプの補填方式

（※ 5年以上の青色申告実績がある者の場合）



「基準収入」は、過去5年間の平均収入（5中5）を基本に規模拡大など、保険期間の営農計画も考慮して設定

- ★ 収入保険は令和6年契約分から、より加入しやすく、充実した補償内容になります。詳しくは最寄りの農業共済組合へお問い合わせください。

収入保険に加入してとても助かりました!! (加入者の声)

**1月下旬の寒波でそらまめが大打撃！
つなぎ融資で余裕が生まれた!!**

そらまめ生産者
前畠さん（指宿市）

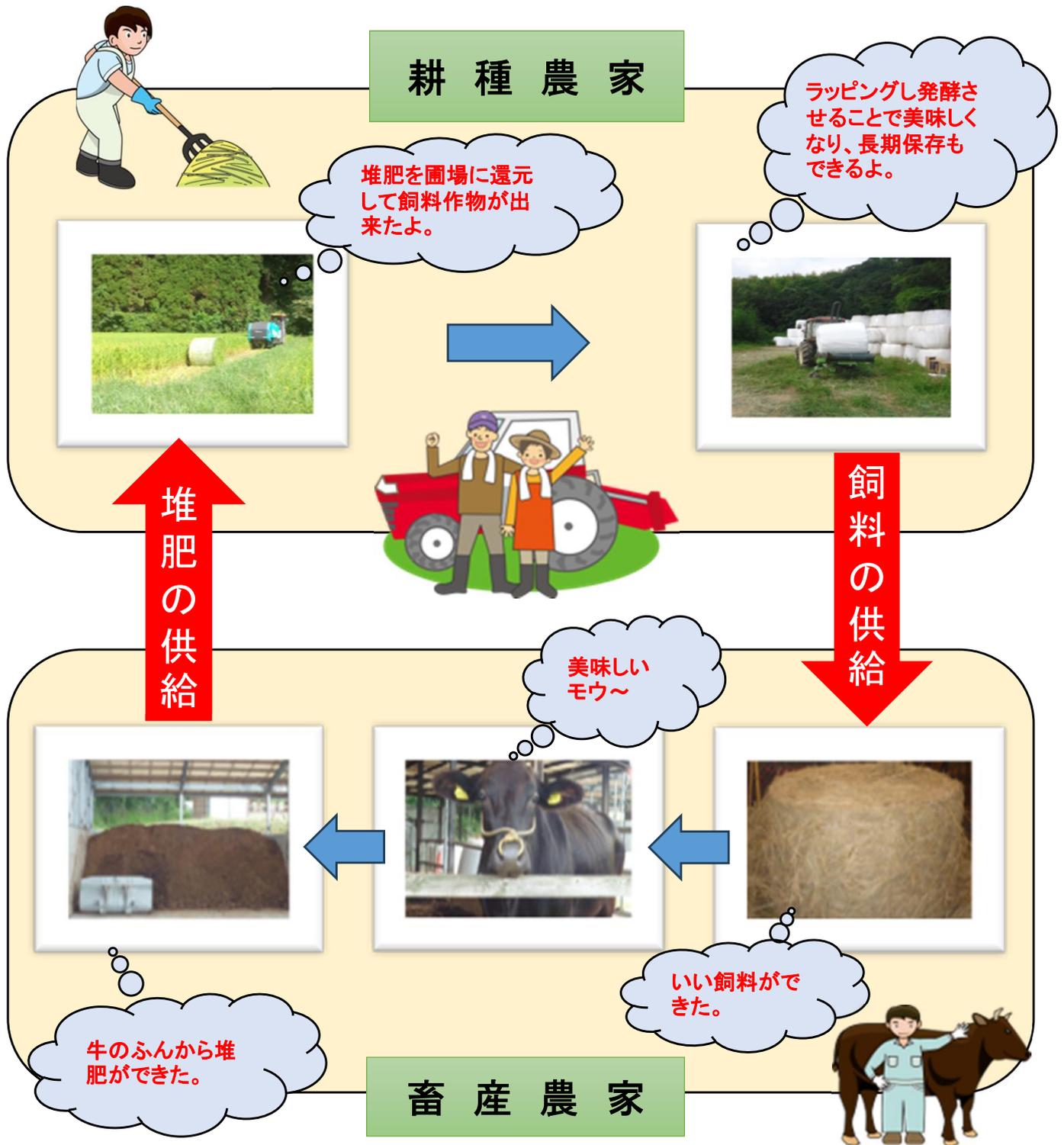
そらまめは収穫直前でしたが、1月下旬の寒波で全滅しました。その際は茫然自失となりましたが、保険金を受け取れると聞いて安心しました。

また、オクラの収入が得られるまでの間、つなぎ融資を利用したことで気持ちに余裕ができました！



「耕畜連携」ってなあに？

耕畜連携とは、耕種農家（米や野菜などを生産する農家）が転作田等で生産した飼料を畜産農家へ供給したり、逆に畜産農家が家畜排せつ物から作った堆肥を耕種農家に供給する仕組みだよ。



農林水産省では都道府県と連携し、飼料作物の耕種農家の供給と畜産農家の需要とを結び付ける**耕畜連携マッチング**を行っています。
マッチングを希望する方は、都道府県にお問い合わせください。

令和4年度の食料自給率が発表されました！

令和4年度(2022年度)のカロリーベース食料自給率は前年度と同じ38%となりました。

また、生産額ベース食料自給率は前年度から5ポイント減の58%となり、比較可能な昭和40年度(1965年度)以降で最低を更新しました。

(令和5年8月7日公表)

※**食料自給率**とは、国内で消費される食料に対して、自分の国で作られた割合を表す数字のことで、生命と健康を維持するために必要なエネルギーで表したものを「カロリーベース食料自給率」、作られた食べものの価値をお金で表したものを「生産額ベース食料自給率」といいます。

鹿児島県の食料自給率は？

鹿児島県の令和3年度(概算値)のカロリーベース食料自給率は79%(前年77%)、生産額ベース食料自給率は271%(前年283%)となっています。

食料自給率に目標があるの？

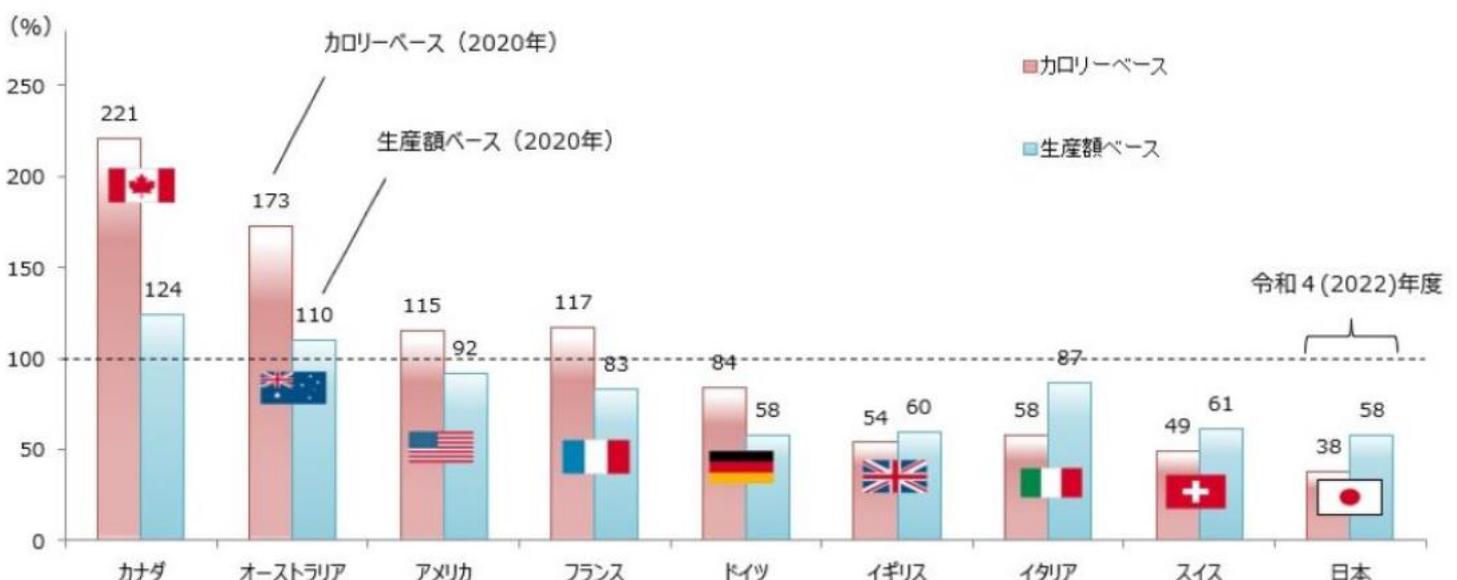
令和12年度(2030年度)
 カロリーベース食料自給率：45%
 生産額ベース食料自給率：75%

※令和2年3月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」で、平成30年度を基準年度として、10年後の食料自給率目標が定められました。

世界の食料自給率は？

日本の食料自給率は、諸外国と比較すると、カロリーベース、生産額ベースともに低い水準にあります。

○ 我が国と諸外国の食料自給率



資料：農林水産省「食料需給表」、FAO「Food Balance Sheets」等を基に農林水産省で試算。(アルコール類等は含まない)
 注1：数値は暦年(日本のみ年度)。スイス(カロリーベース)及びイギリス(生産額ベース)については、各政府の公表値を掲載。
 注2：畜産物及び加工品については、輸入飼料及び輸入原料を考慮して計算。